# 2014年度(前半募集) アジア・太平洋学生交流(UMAP) オンライン多大学間学生交換による

# 留学生(2014年秋頃から1年または1学期間)募集

## 応募期限3月15日(土)

(結果通知は4月10日以降)

### 留学できる大学の例

(2013年前半募集の大学。毎回変わります。)

ブルネイ(1大学)、メキシコ(1)、フィリピン(7)、 台湾(25)、タイ(23)、ベトナム(1)の58大学。

具体的参加大学はhttp://www.umap.org/usco/en/directory/UMAP-members.phpを見て下さい。右図は2月12日時点の画面。募集を決定した大学から順に掲載されていくため、数は徐々に増加。

## 新潟大学が派遣できる学生は5名

学年の制限はありません。募集から留学まで半年以上あること、3-4年生は卒業論文、就職活動、進学準備等で多忙になりがちであることから、1年生の時に応募して2年から留学することも勧められます。



英語で履修し、単位を取得できる英語力が必要。 授業は、原則として 英語。但し、メキシコでは多くがスペイン語で実施とされています。

留学先で取得した単位は、所属学部等のカリキュラムに整合する範囲において、所属学部等の判断により、本学で取得した単位と認定。(学部により取り扱いが異なるので、事前に学部の学務係等とよく相談して下さい。)

学生は、本学を休学することなく留学。そのため、本学の学費を支払わなければなりませんが、派遣先の大学では学費を免除。但し、渡航費、教科書代、生活費等は負担しなければなりません。

### 関心のある学生は、まず国際課に連絡して下さい。

参加大学のプログラムの情報はインターネット上にあるので、システムにアクセスするためのアカウントとパスワードを発行します。それにより留学したい大学が見つかった後、審査に合格した学生に応募して頂きます。

アカウント・パスワード発行申し込み:3月12日(水)までに国際課へ。

- 毎年、冬と夏に募集しています。次回応募締切(2015年春に留学)は今回の締切の半年後頃と見込まれます。
- 800ドルの奨学金をもらえる可能性もあるサマー・プログラムもあります。別途掲示のポスターを見て下さい。

国際センター 宮田(電話 025-262-7794 miyatah@isc.niigata-u.ac.jp)国際課 海外留学担当 (電話 025-262-7631 studyabroad@adm.niigata-u.ac.jp)

#### UMAP オンライン学生交換の御案内

2014年2月 国際センター 国際課

### 1. UMAP(University Mobility in Asia and the Pacific アジア太平洋大学交流機構)とは

- 目的: アジア・太平洋地域の学生交流を多大学間協力により促進する。
- <u>未加盟の</u>対象国:中国、カナダ、チリ、グアム、ラオス、ミャンマー、ペルー、ロシア、サモア、シンガポール、東チモール、米国
- 国際事務局は持ち回りで、最初は日本、その後タイ、2011年1月から台湾。
- 国立、公立、私立大学いずれも参加している。但し、その状況は国により異なる。
- 現時点で行われている学生交換は、UMAP オンライン学生交換(UMAP Student Connection Online: USCO)。

#### 2. UMAP オンライン学生交換(UMAP Student Connection Online: USCO)の特徴

- UMAP ウェブサイトから留学の申し込み等を行う。 http://www.umap.org/usco/en/directory/UMAP-members.php
- UMAP ウェブサイトからの応募が先方大学で受け入れられたらその大学の通常の手続きに従って交換留学。

#### ■ 3 種類

- 多大学間学生交換プログラム UMAP Multilateral Exchange (UME) = プログラム A
- 二大学間で合意した方法での交換 UMAP Bilateral Exchange (UBE) = プログラム B
- 学習内容等を限定した特別コース(サマー・プログラム等) UMAP Student Exchange on Special Courses (USC) = プログラム C
- 受入大学は、住居の提供または支援を行う。
- 学生は、英語による講義に参加できる語学力があること(但し、メキシコについてはスペイン語が多い。)。授業を主に英語で行っている大学では、履修できる科目の選択肢の幅が広がる。多くの大学が主に自国語で授業を行っている国でも、タイのメ・ファー・ルアン大学のように、英語で授業を行っている大学もある。
- 学部生に加え、修士も可。
- 単位互換とする。

#### ■ 参加の意義

- ●二大学間協定締結が難しかった国との交流ができる。
- ●ウェブサイトで情報が得られ、かつ、各大学を比較することも容易である。

### 3. 多大学間学生交換プログラム UMAP Multilateral Exchange (UME) = プログラム A

#### ■ 特徴

- USCO の基本プログラム。
- 1年間または1学期間。但し、留学先大学が、受け入れ期間を1年または半年に限定している場合がある。
- 募集は年2回。但し、年に1回のみ募集の大学もある。
  - 第1回募集: 秋から留学 従来は1月末から2月前半が応募期間であったが、今回は3月 15日(十)までが応募期間とされた。
  - 第2回募集:翌年春から留学:従来、7月末から8月前半が応募期間であったが、今回ンお例から刷ると、9月15日(月)までとなる可能性がある。
- 募集情報は、UMAP ウェブサイト中の次のところに掲載される。参加決定をした大学から

掲載される。募集決定の遅れた大学は掲載も遅れる。そのため、掲載大学が徐々に増加していく。

http://www.umap.org/usco/en/directory/UMAP-members.php?ProgramType=A

- 授業料不徴収
- 各大学の派遣、受け入れそれぞれは、1年間に2名または5名(新潟大学は5名)
- 学生は、1 か国について 1 大学しか選べない。かつ最大 5 か国。国際課からアクセスのためのパスワードをもらった上で、自分でウェブサイト上で申請する。
- 学生の希望した最大 5 大学のいずれかに UMAP 事務局が機械的に推薦。
- 募集日程(第2回の日程も、今回の日程と同様に、従来よりも1か月遅れると見込んで記載。)

時期		工件士
第1回募集	第2回募集	手続き
1月	7月	各参加大学が情報を UMAP ウェブサイトに掲載
3月15日 まで	9月15日 まで?	国際課に申し込んだ上で、ウェブサイトにアクセスするためのア
		カウントとパスワードの発行を受け、関心のある大学についての情
		報をネット上から取得して応募を検討する。
		応募したい大学が見つかった場合、ウェブ上から応募用紙をダウ
		ンロードし、必要事項を記入して、国際課に提出する。
応募期限の数日前まで		国際センターは、希望学生の中から数名(年間5名)の応募を承認す
		る。国際センターでは、(a)意欲と計画性、(b)成績及び(c)語学力から
		総合的に判断して、希望学生の中から学生5名の応募を承認する。
3月15日	9月15日	応募を承認された学生は、ネット上から正式に希望大学への留学
まで	まで?	を申し込む。
4月10日	10月10日?	UMAP 事務局により、学生が希望大学とした範囲内で機械的に応
		募学生の推薦先が決定され、その結果は両大学に通知される。必ず
		しも第一志望の大学に推薦されるとは限らない。
4月中	10 月中?	応募を受けた大学は、審査し、その結果を学生に通知する。
受け入れ通	受け入れ通	通常の学生交換留学の場合と同様に、留学ビザの取得に必要な書
知後	知後	類の発行を含め、入学のための諸手続きが行われる。
10 月頃	4月頃	留学開始。国や大学により学期の始まる時期が異なるので、派遣
		先大学によって時期が異なる。
留学開始から半年 または1年後		帰国し、留学先で取得した単位を本学で取得した単位として認定
		してもらう申請を行う。留学先で取得した単位は、所属学部等のカ
		リキュラムに整合する範囲において、所属学部等の判断により、本
		学で取得した単位として認定される。学部によっては留学前の申請
		を義務づけているので注意。

#### 4. 二大学間で合意した方法での交換 UMAP Bilateral Exchange (UBE) = プログラム B

新潟大学は、これまでのところ、二大学間の交流は行っていない。全体でも少数に留まる。

# 5. 学習内容等を限定した特別コース(サマー・プログラム等) UMAP Student Exchange on Special Courses (USC) = プログラム C

従来、タイの少数の大学等が観光学についての講義と実習等のプログラムを行っているに過ぎなかったが、2012 年度に UMAP 事務局が 3 年間限定で各受入大学に対し最大 10 人まで 1 人につき 800 ドル、年間総計 100 人の奨学金を給付することになったため、実施大学が大幅に増えた。本学も、8 月後半の 2 週間に「Summer Course at Niigata University: Lessons from Contemporary Japan」を実施し、両年ともに、10 人分の奨学金を得ている。

多くは夏季プログラムである。しかし、夏休みの時期が日本と重なるのは台湾程度であることによ

り、日本の学生が参加できるプログラム C は限られる。但し、台湾以外の大学のプログラムであっても、英語研修等、随時受け入れというものもあるので、探してみる価値はある。

情報が UMAP ウェブサイトに掲載されるのは 2 月頃が多いが、大学によって異なる。締切も、早いところで 5 月で、中には翌年 2 月頃まで申し込めるところもある。

情報の掲載されているページは

http://www.umap.org/usco/en/directory/UMAP-members.php?ProgramType=C

#### 6. 窓口

国際課海外留学担当 (電話 025-262-7631 studyabroad@adm.niigata-u.ac.jp) UMAP ウェブサイトからの応募のためのアカウント作成等

### 7. 国際センターの担当教員 ― 留学先選定の助言等(遠慮なく問い合わせて下さい。)

宮田春夫 (総合教育研究棟 D315a の入口から 3 番目の研究室) 電話兼 fax 025-262-7794 e-mail miyatah@isc.niigata-u.ac.jp

